

【講演タイトル】「元気で長生きできる会社とは」

講演者

コスモス法律事務所 弁護士 四宮 章夫 様

概要

長生きの秘訣として、コンプライアンス、企業理念、働く人を尊重という3つの角度から捉えたお話をいたします。

プロフィール

- 略 歴 昭和42年 3月 徳島県立城南高校卒業
昭和45年 10月 司法試験合格
昭和46年 3月 京都大学法学部卒業
昭和48年 3月 司法修習終了
昭和48年 4月 東京地方裁判所判事補
昭和51年 4月 津地方裁判所四日市支部判事補
昭和53年 4月 大阪地方裁判所判事補
昭和56年 3月 退 官
(中略)
平成16年 4月 京都産業大学法学研究科専任教授
平成18年 6月 フェニックス電機株式会社(現ヘリオステクノホールディングス) 監査役
平成19年 10月 京都大学大学院経済学研究科非常勤講師(平成21年3月終任)
平成21年 10月 大阪紛争調整委員会委員(平成27年9月末日退任)
平成23年 6月 岐阜大学応用生物科学部非常勤講師、合同製鐵株式会社 監査役
平成26年 6月 合同製鐵株式会社取締役
平成26年 10月 竜谷大学法科大学院非常勤講師(平成27年3月末日任期満了)
平成27年 2月 中央電気倶楽部理事
- 弁護士歴 昭和56年 5月 弁護士登録(大阪弁護士会所属)
平成14年 4月 弁護士法人淀屋橋・山上合同(現名称)業務執行社員就任
(平成21年3月退任・平成26年3月退社)
平成26年 4月 コスモス法律事務所開設
- 論 文 「転得者に対する否認」麻上正信監修「破産法」,金融商事判例別冊
「最近の会社更生事件処理をめぐって」Credit & Law 107号30頁
「民事再生法の運用と実務」市民と法8号28頁
「プロフェッションとしての自覚と倫理」市民と法21号104頁(2003.6)
「MBI方式によるフェニックス電機(株)の再建」事業再生と債権管理106号
134頁(2004.10) ほか多数
- 単行本 経済法令研究会 「よくわかる民事再生法」
民事法研究会 「弁護士日記・秋桜」(2012.8) ほか多数

【講演タイトル】「建設技術の新たなステージ i-Construction」

講演者

立命館大学理工学部 教授 建山 和由 様

概要

昨年4月にスタートした i-Construction では、これまで低迷していた建設分野の生産性を画期的に高めるだけでなく、それをもって建設の産業としての体質を改善することが目指されています。講演では、i-Construction の背景と目指すところ、ならびにこれまでの取り組み状況を説明するとともに、これをさらに発展させる具体策として情報化施工、建設ロボット、CIM の先進的な事例をご紹介します。

プロフィール

略 歴 1980年3月 京都大学 工学部 土木工学科 卒業
1985年3月 京都大学 大学院 博士後期課程 研究認定退学
1985年4月 京都大学 工学部 助手
1988年5月 工学博士(京都大学)
1990年4月 京都大学 工学部 講師
1996年4月 京都大学 工学研究科 助教授
2004年4月 立命館大学 理工学部 教授
2013年1月 学校法人立命館 常務理事

現在の主な委員，学外役職等

国土交通省 情報化施工推進会議 委員長
国土交通省 総合政策局 建設機械施工技術検討委員会 委員長
国土交通省 i-Constructon 委員会 委員
国土交通省 ICT 導入協議会 委員長
国土交通省 i-Construction 推進コンソーシアム 委員
経済産業省 省エネ建設機械導入事業審査委員会 委員長
阪神高速道路公団 大和川線トンネル技術委員会委員・幹事長
一般社団法人 日本建設機械施工協会 副会長
公益社団法人 土木学会 建設用ロボット委員会 委員長
地盤・車両系国際学会・日本国理事

専門分野 地盤工学，建設施工学，情報化施工，建設施工の合理化，建設新技術開発

受賞等 地盤・車両系国際学会 Soehne-Hata-Jurecka Award (1996)
土木学会 技術開発賞 (2002)
地盤工学会 功労賞 (2012)

著 書 最新建設施工学(共著) 朝倉書店 1994年
転圧ローラ工学(共著) テラメカニックス研究会 1999年
土の試験実習書 - 基本と手引き - (共著) 地盤工学会 2000年
建設工事における環境保全技術(共著) 地盤工学会 2009年
土の締固め(共著) 地盤工学会 2012年